

上島町消防だより

危険物

安全週間について

6月3日～9日までの一週間を、危険物安全週間としています。

皆さんもガソリンや灯油のように身近にある「危険物」を再認識し、危険物に対する意識の高揚と啓発を図り、事故防止に努めましょう。

今月は、皆さんの中にも一度は利用したことがある「セルフスタンド」について取り上げます。

平成19年度危険物安全週間標語

危険物

目指せ無事故のMVP

給油時に注意！

セルフ式ガソリンスタンドへ

自分で給油できる、セルフのガソリンスタンドをいたるところで見かけるようになりました。利用されたことのある方も多いと思います。



価格が安くて、手軽で便利な「セルフスタンド」ですが、取扱いに注意しないと起こる事故に遭遇

しかねません。

次の事に注意し安全に給油をしましょう。

●給油前には必ずエンジンを停止しましょう。

●給油口を触る前には静電気除去シートに触れてから！

●燃料が規定量に達すると自動停止するので、それ以上給油しないこと。



エアゾール式簡易消火具

の破裂等事故に注意

エアゾール式簡易消火具の一部において、製造工程上の不具合が原因で内部腐食の進行により、液漏れや亀裂・破損が起る可能性があることが判明しています。

2001年（平成13年）11月～2002年（平成14年）7月にヤマト

プロテック株式会社が製造したものの品質保証期間（2005・01・10）で商品名は、「ヤマトボーイ

KT」と「FMボーイ」です。品質保証期間が過ぎていますので破棄してください。

製造業者が自主回収を行っています。



救急救命士誕生

上島町に、薬剤投与の行為ができる新たな救急救命士が誕生しましたので紹介します。



消防士長 小林 俊則

小林士長の抱負

平成3年に救急救命士の制度が設けられ、処置範囲も徐々に拡大されるなか、上島町で5人目の救急救命士となることが出来ました。

私が消防職員となり丁度20年が経過し、この間に救急態勢も徐々に充実してまいりました。

今後、更に消防業務に精進し、慢

平成19年の出動件数

	火災	救急
今年（4月）	0	45
昨年（4月）	1	49
昨 年 比	-1	-4
累 計	1	161

平成19年4月30日現在

【訂正】5月号掲載の救急昨年比について、次のとおり誤りがありましたので訂正します。

誤 -11 → 正 11

火災と救急は119番
消防本部・署 77-4118(代)

心することなく研鑽と訓練を重ね、皆様に信頼していただけるよう努力していく所存です。

薬剤投与認定救命士とは？

救急救命士のうち、薬剤投与を行うために必要な知識と技能※を修得し、県メデイカルコントロール協議会の認定を受けた救急救命士です。

※薬剤投与認定 220時間の講習。実習修了（病院実習50時間含む）

〔実際の運用については、病院実習（就業前研修）が終了する7月から予定です。〕

問い合わせ先

破棄に困る場合やご質問等は、左記までお問い合わせください。

ヤマトプロテック株式会社
TEL 0120-801084
受付時間 月～金（祝日除く）
午前9時～午後5時



農業講座

しまなみ農業だより かんきつ苗木の管理ポイント

今春は、町内のたくさんの方にかんきつ新品種「たまみ」の苗木を植えていただきました。

早く実をならせるためには1年目の管理が大変重要です。今回はかんきつの苗木の夏期管理のポイントについて解説します。

■かんきつ苗木の生育過程

かんきつ類は3月下旬に植え付けて4月中旬頃から発芽を始めます。これを春芽といい、6月にかけて枝葉を伸ばします。この春芽の枝・葉が硬く充実してくると、梅雨頃から（7月上旬）夏芽（土用芽）が出始めます。かんきつ類の多くは頂芽優勢といい枝先の芽が最も優勢に伸びる性質があります。充実した春枝の先端部の夏芽を伸ばすことが木の生育を促し早く樹形を作ることになります。苗木では9月頃から秋芽が出てきますが、気温が下がり始めるため枝の充実が悪いですが葉を1枚でも多くつけることは苗木の生育には良いことです。

■苗木の管理について

【施肥管理】

施肥は定植の約1ヶ月後（5月上旬）から株の周りに1本当たりファイトで約90g、高度化成肥料で約50gを1ヶ月半に1回、11月上旬まで施用します。施肥後は軽く土と混ぜます。また、発芽が始まる頃から約10日おきに噴霧器による液肥の葉面散布を行うと葉が充実します。エカキムシの農薬散布の時に同時に散布すると効率的に作業できます。液肥の種類は専用液肥で800倍程度、尿素も液肥として利用でき500倍で使用します。

【新芽に発生する病虫害防除】

せっかく発芽してきた芽に病虫害が付いてしまうと芽の伸びが悪くなり生育に影響が出てきます。6月頃以降芽が1cm伸びた頃から、約10日間隔で3回程度、新芽だけにエカキムシの防除を行います。薬剤はモスピラン水溶剤4000倍、アドマイヤーフロアブル4000倍などが有効です。同時にアブラムシにも効果があります。その他、アゲハチョウの幼虫が新葉を食べるので、こまめに見てまわり早めに取り除いてください。かいよう病も品種により発病するので6月以降に強風雨などの前後にICボルドー66Dを80倍で予防散布を行います。



露地せとか苗（6月末）



施設せとか（8月末）

【その他管理】

台風など強風に備え支柱で苗木の支えをします。また、斜め植えは新芽が同じところから数本出てきた時には1節1本に芽かきにより枝を充実させます。直立植えは、先端から4芽程度を1節1本に芽を残します。成木よりも根が浅く少ないため乾燥する時には早めにかん水を行い、株周りに敷き草や黒ポリマルチにより乾燥防止を行います。除草をこまめに行い、雑草で苗木が隠れることのないように早めに除草を行ってください。

■注 意

苗木は手をかけるほど早く成長します。果実を成らせる目安は、植えてからの年数よりも着葉数で実をならせる判断をしてください。1本で1000枚以上の葉が付けば、中間よりも下枝に果実を着けることができます。無理な着果は木の生育を著しく遅らせるので注意してください。